

第34回症例検討会

case55

2024年3月11日

40歳代 男性

主訴:腰痛、腹痛

医師の診断名:尿管結石

家族歴:不明

既往症:腰痛症 (腰椎椎間板ヘルニア X-0.5年 総合病院にて診断 T11-12、L-4-5) オペを勧められたができればしたくない

医療機関:泌尿器科、整形外科、ペインクリニック

内服薬:①ジクロフェナクNa坐剤50mg 痛いとき、②ウラジロガシエキス錠225mg 1日3回 (参考1)

サプリ類:なし

生活歴:アルコール・喫煙 あり 食事:一人暮らし

アレルギー:なし

検査:腹部CT検査

現病歴

X年 早朝6時

深夜・明け方に痛みで目が覚める。嘔吐あり。

強い腹痛、腰痛、吐き気（嘔吐あり）を訴え総合病院を救急にて受診、腹部CT検査を施行。救急車は呼ばず徒歩で病院へ。

※「5ミリから7ミリの石が尿管内にある」とのことで医師から「尿管結石」の診断を受け薬①ジクロフェナクNa坐剤50mgを処方された。

客観的情報

身長: 180cm 体重:65 kg BMI: 20.06

腰痛・腹痛：腰部・肋骨周辺に吐き気を催すほどの強い痛み

嘔吐：X年

O(objective) 客観的情報

A(assessment) 評価

東洋医学的情報

証:肝腎陰虚

寒熱:寒 燥湿:湿

食事:日による 好みは不明 二便:尿正常 8回/日 便正常 1回/日

睡眠:不明 嗜好品:たばこ(1日10本) お酒(月1度缶ビール1本程度)

精神:気にするタイプ 硬結:頸肩部(風池、天柱、完骨)・腰部(腎兪、志室)に筋緊張

圧痛:僧帽筋起始部(+)、後頭下筋(+)、腰部(+)

脈診:実施せず

舌診:白い

腹診:実施せず

その他の愁訴:腰痛 坐骨神経痛症状あり 目の周りくま

治療

取穴:志室 置鍼 腹部圧痛点・左右季肋部周辺に電子温灸（参考2）

刺鍼法:経穴5～10mm 15分

得気:なし

通電:なし

頻度:毎日（全3回）

経過

X年 昼15時

痛みが強く早朝に救急を受診。

その後、自宅で寝ていたが症状が強く不安になり、もともと12日前に1度腰痛治療に来ていた弊所に電話で症状を報告。鍼灸でよくならないか相談を受ける。

電話にて「まずは泌尿器科医師の指導を受けるべきだ。」と伝えましたが不服そうな様子。そのため、まずは状況把握のためにも鍼灸院へ来てもらうよう提案。翌日来所してもらう。

*ただし必要に応じて速やかに病院へ受診を勧めることもあると伝えた。

主訴発生翌日

午前11時30分頃 鍼灸院来所。鍼灸施術。同時に泌尿器科を受診する目的・理由を伝える。泌尿器科の医師へ紹介状を書く。

施術後 VAS8→3 本人も驚く。

午後2時頃 紹介状持参で泌尿器科受診。薬② ウラジロガシエキス錠225mg処方。薬①はジェネリックに変更された模様。

主訴発生翌々日

午前9時頃 鍼灸院来所。施術後VAS6→2

主訴発生から3日後

午前9時頃 鍼灸院来所。施術後VAS3→1 施術終了。

考察

- 👉 本症例への鍼灸治療は、尿路結石の疼痛に対し有効であったと思われるが診断目的ではない。鍼灸院ではCT等による画像診断や検査ができないため医師・近隣病院の協力を得ることが望ましい。ただし島や周りに医療機関がない地域では鍼灸院で超音波を使うのも有効？（参考2）
- 👉 患者が病院や救急をどう利用していいかわかっていなかった。（参考3）救急での対応に不満を持っていた。その説明を補い再び泌尿器科へつなげられたことが良い結果につながった。

👉 今回は尿管結石の症状であったが、鍼灸院に来所する患者の中には強い疼痛を訴える・緊急性が高い症状を経過観察中に発症することもある。その対応をシュミレーションをしておく必要がある。

👉 ドクターが鍼や指圧のテクニックを使いたしたら我々は出番ない？

👉 東洋医学的考察が浅かったのが反省点。

参考・および文献

1) ウラジロガシ = 生薬である。

ブナ科コナラ属アカガシ亜属の常緑広葉樹。どんぐり。葉をお茶にして飲むと胆石や腎臓結石を溶かす。排出促進を促すエビデンスがある。医薬品化されている。

2)尿管結石の痛みになぜ「志室」が効く？（2019.1.23修正）【時流◆試してみたいくなる「私の手当て」】

東京女子医大・武田宗和氏による尿管結石痙痛発作に対する「志室」指圧—Vol. 2

尿管結石の痙痛発作に対する鍼灸療法 (Anesth Pain Med 2014; 4: e16222)

救急受診した急性痛への鍼灸療法で対照群の麻薬性鎮痛薬を上回る鎮痛効果が確認されたとの報告 (Am J Emerg Med 2016; 34: 2112-2116)。

参考・および文献

1) ウラジロガシ = 生薬である。

ブナ科コナラ属アカガシ亜属の常緑広葉樹。どんぐり。葉をお茶にして飲むと胆石や腎臓結石を溶かす。排出促進を促すエビデンスがある。医薬品化されている。

2)尿管結石の痛みになぜ「志室」が効く？（2019.1.23修正）【時流◆試してみたいくなる「私の手当て」】

東京女子医大・武田宗和氏による尿管結石痙痛発作に対する「志室」指圧—Vol. 2

尿管結石の痙痛発作に対する鍼灸療法 (Anesth Pain Med 2014; 4: e16222)

救急受診した急性痛への鍼灸療法で対照群の麻薬性鎮痛薬を上回る鎮痛効果が確認されたとの報告 (Am J Emerg Med 2016; 34: 2112-2116)。

(医師視点で) 志室の指圧を行う上での注意点とポイント

- (1) 尿管結石の検査前確率が高い人にのみ実施する (発症形態、CVA叩打痛あり★、腹膜刺激症状なし、エコーで腎盂拡大あり、他の腹部疾患、後腹膜疾患の可能性が低いなど)
- (2) 「志室」の正確な場所を見つけて押す
- (3) 施術は硬い場所で、腹臥位で行う
- (4) 個人的には、3回行ってもだめなら諦める
- (5) 施術後CTで尿管結石を確認する

★ 腎臓疾患時には、肋骨脊柱角 (CVA、第12肋骨と脊柱の間の部分) に叩打痛が現れる。実際には難しい？

3) 救急車を呼ぶか迷ったら

#7119 で相談ができる。→電話する余裕がある場合。